

令和4年度コミュニティスクール講演会 活動発表

「地域とのつながりを大切に」

～これからの学校と地域との連携について～

茅野市小中一貫校

令和5年2月20日

茅野市立北部中学校

学校教育目標

夢に向かって

たくましく

生きぬく生徒

自主

自分で考えて判断し、己に恥じない行動をしよう。

忍耐

苦しさに負けずに最後までやりぬき、他に対しては寛容な心を持つとう。

審美

真実を求め続けて、知性を磨き、心を磨こう。

An ornate, multi-layered gold frame with intricate scrollwork and floral patterns. The frame is set against a light beige background. In the center of the frame is a white rectangular area containing the text.

これまでの連携

(1) コロナ禍前



文化祭の体育祭にて 大玉送り

(1) コロナ禍前



文化祭 屋外ステージ

(1) コロナ禍前



文化祭 ふれあいマーケット

(1) コロナ禍前



PTA総会

(1) コロナ禍前



生徒総会

(1) コロナ禍前



生徒会と学校運営委員との懇談会

(1) コロナ禍前



PTA学級部 CS家庭支援部会

(2)コロナ禍で

- ・学校にお越しいただいての連携、支援は、実現不可能が多くなってしまった。**
- ・総合の学習の時間は、できる範囲でお願い。**
- ・職場体験学習は、できたとしても体験させていただける職場が限定。**

3 コロナ禍で見えてきたその他の課題

(1) 運営委員の多さ

- ・5つの地区にまたがっているため、どうしても人数が多くなってしまっていた。約40名。**
- ・大勢にかかわっていただく良さはあるが、小回りがきかないことも。**

(2) 中学校へお越しいただくことへの負担感

- ・小学生だったら助言できるが…**

4 生徒会の新たな動き

(1) 毎年同じ反省の言葉

- ・令和2～4年度 12月の生徒総会にて

「…今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、地域の方々と交流を深めることができなかった…」

(2) 新たな動き

- ・令和2年度 できなかった
- ・令和3年度 できなかった部分はあるが、できることを考えた。
- ・令和4年度 「どうやったらできるか」を常に考えた。

各委員長の発表に「コロナ禍」という言葉が何回も登場したが、想定外・予定外のことにもよく対応。「どうやったらできるか」を考えた。

（生徒の言葉）

- ・コロナ禍ではあったが今までと変わらず行事を開催することができた**
- ・自分には何ができるかを考えて行動していった**
- ・タブレットを使った議案書を見ながらの総会だった**
- ・今年は「くまステ」を行うことができた**
- ・壮行式を体育館で行うことができた**
- ・過去2年間完全なやつがね祭を経験したことがなかったが、自分たちで考えて行った**

（生徒の言葉）

・「いくら大きな壁にぶつかってもどこかに正解はある。だから、下を向かずに先の未来を願ってまずはやってみることが大切である。これからの生活も、新しいことを恐れずに過ごしていきたい。」

特に今年度の3年生は、全国で臨時休業を行っているときに入学した生徒。しかし、前向きな生徒。逆境に立ち向かう生徒。

たのもしいい子どもたち

- 彼らのもつ力を信じたい
- 子どもたちをパートナーとして迎え入れる
- 社会の担い手としての期待



An ornate, multi-layered gold frame with intricate scrollwork and floral patterns. The frame is set against a light beige background. In the center of the frame is a white rectangular area containing the text.

これからの連携

5 令和5年度生徒会(案)

R5,2.12

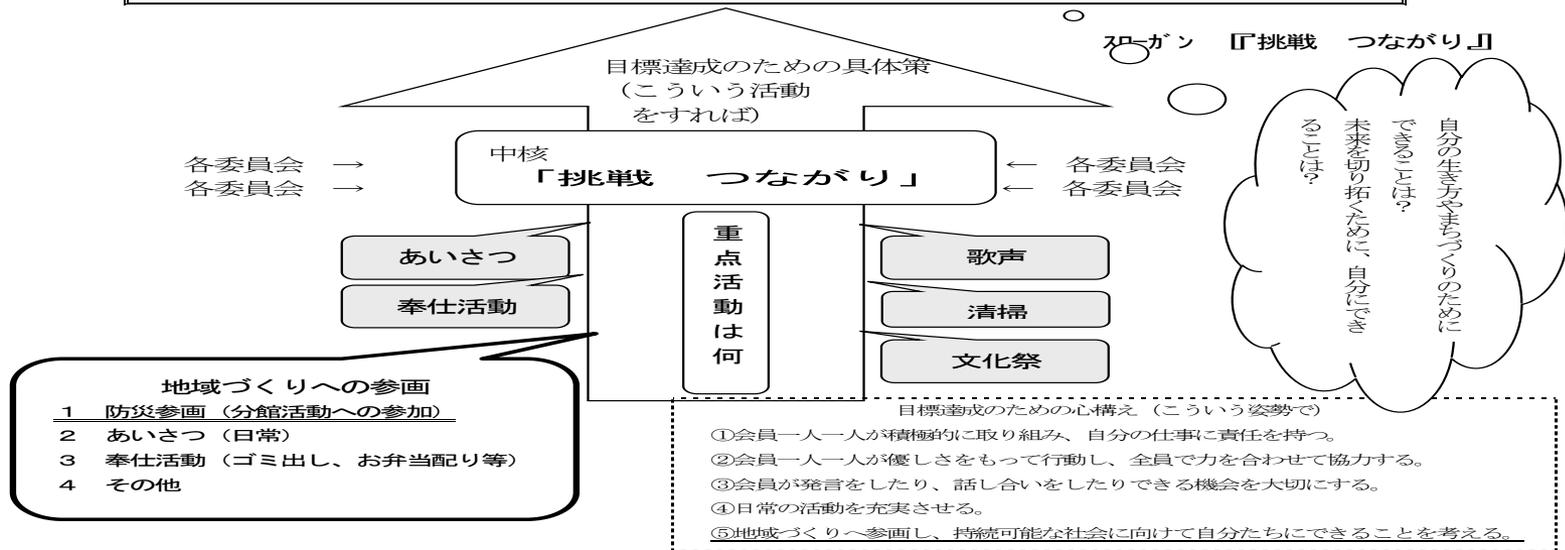
令和5年度 北部中学校生徒会「公民館とともにやりたい地域づくり活動(案)」

北部中学校 生徒会

1 令和5年度生徒会<目標図> 案

【茅野市教育の目指す姿】「自分の生き方・自分たちが生きていくまちの未来を描く」

目標 『 思いを継承し、未来を切り拓く生徒会 』(案)
 テーマ ～ “挑戦” つながり・つなげる・つながる ～

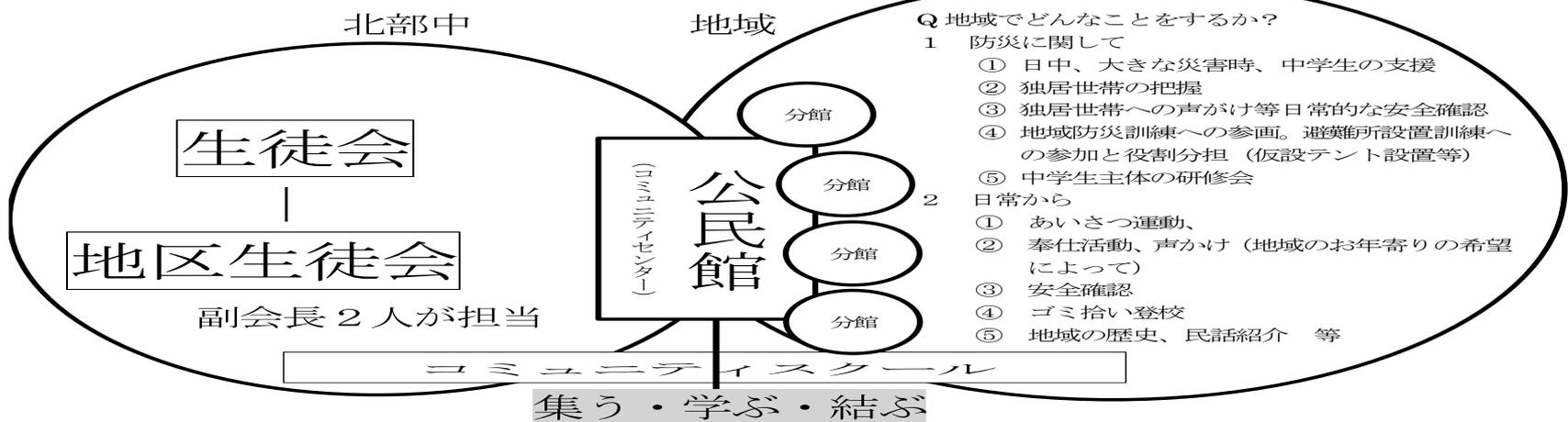


地域づくりへの参画

- 1 防災参画 (分館活動への参加)
- 2 あいさつ (日常)
- 3 奉仕活動 (ゴミ出し、お弁当配り等)
- 4 その他

2 R5年度生徒会活動 地域づくりへの参画の具体

(1) イメージ図



(生徒会と地域をジョイントしていただければ)

(1)令和5年度生徒会長の願いから

・来ていただいて〇〇

→参加(よばれる) →参画(出向いて一緒に)

**(2)持続可能な社会づくりに向けて、中学生は
貴重な地域の担い手**

例:運動会、お祭り、文化祭等

(3)課題解決に向け、自ら行動し、人と人がつながって協働的に学ぶ

→自分の生き方や、自分たちが生きていくまちの未来を考えることに

6 これらをふまえて、これからの北中CSについて

(1) 連携の「結び直し」

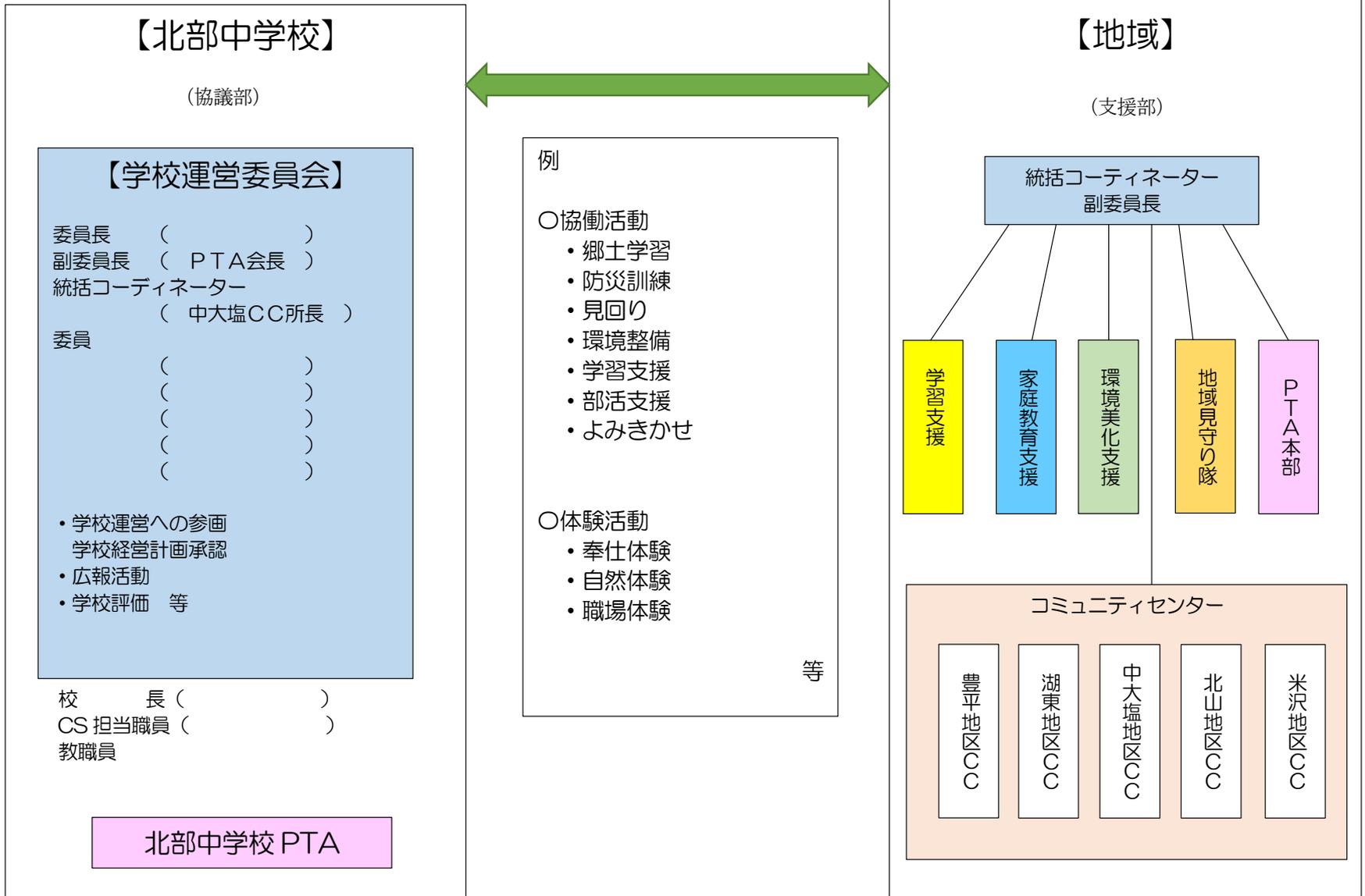
○組織のスリム化

→ 協議部と支援部を分ける

(2) 形も大事だが、形だけにとらわれないように

→ 各地区から必ず一人をとという発想からいったん離れてみる

令和5年度 北部中学校 学校運営委員会 組織図 案



6 これらをふまえて、これからの北中CSについて

(3)「学校の主役は生徒である」という原点に立って、生徒の安心・安全を第一に考えながら、学校目標『夢に向かって、たくましく生きぬく生徒』を目指し、地域のみなさんと一緒に、新たな連携を。

